

東京春祭を楽しむ(34)

—ライブ配信(34)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2023No.44】で紹介した東京春祭 23 の 4 月度プログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、松浦奈々(ヴァイオリン)と三輪郁(ピアノ)の演奏を視聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B→FAL C90EXW

これらの経路には仮想アース、MRF-005T および SPA-7 が装着されています。
プログラムは次のとおりです。

日時・会場

2023 年 4 月 7 日 [金] 14:00 開演 (13:30 開場)

東京都美術館 講堂

出演

ヴァイオリン：松浦奈々

ピアノ：三輪 郁

曲目

R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18[試聴]

ウェーベルン：ヴァイオリンとピアノのための 4 つの小品 op.7[試聴]

コルンゴルト：《から騒ぎ》 op.11 より 4 つの小品[試聴]



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果



美術館の講堂で、会場の響きは乏しいのですが、直接音は近接マイクでリアルに捉えられています。

R.シュトラウスのヴァイオリン・ソナタは、R.シュトラウスらしい、ダイナミックなロマンチズムで展開する曲です。

ウェーベルンのヴァイオリンとピアノのための4つの小品は、現代曲でエッジの効いた鋭い音が再現されていました。

コルンゴルトの《から騒ぎ》は、軽快で明るい印象や穏やかな表情が続く曲です。こういった表情の異なる曲が弾き分けられ、昨年とは違ったライブ感が楽しめました。

4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができ、昨年との比較では、表情の異なるそれぞれの曲の再生において仮想アースやスピーカーアキュライザーの効果が確認できました。

以上